

水の問題を考えましょう！

シンポジウム「水を考える夕べ」開催

多くの懸念・反対が表明され、また審議不十分の中、改正水道法が成立しました。争点となったのは、民営化の手法でもある「コンセッション方式」についてでした。立憲民主党は、「水道事業は、自然災害と有事においてどんなにちいさな脆弱性も許してならないが、民営化の問題は平時ではなく有事にやってくる、政府の最大の役目とは有事の際に国を守り抜くことだ」と指摘しています。

横浜地方自治研究センターは、以下の日程で「水を考える夕べ」と題して、シンポジウムを開催することとしました。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

シンポジウム「水を考える夕べ」

日時	2018年12月17日（月）午後6時30分～
場所	吉野町プラザ（ホール） 横浜市南区吉野町5-26 地下鉄吉野町駅下車徒歩3分
主催	横浜地方自治研究センター
内容	コーディネーター 岡真人自治研センター理事長（市大名誉教授） 講師（予定） 武内則男衆議院議員（立憲民主党） 「法改正の問題点・今後の水道行政のあり方」 伊藤純一市会議員（立憲民主党） 「横浜市の水道の状況と課題」

連絡先 いたう純一事務所 横浜市南区榎町2-51

☎045-315-3115 FAX045-315-3175